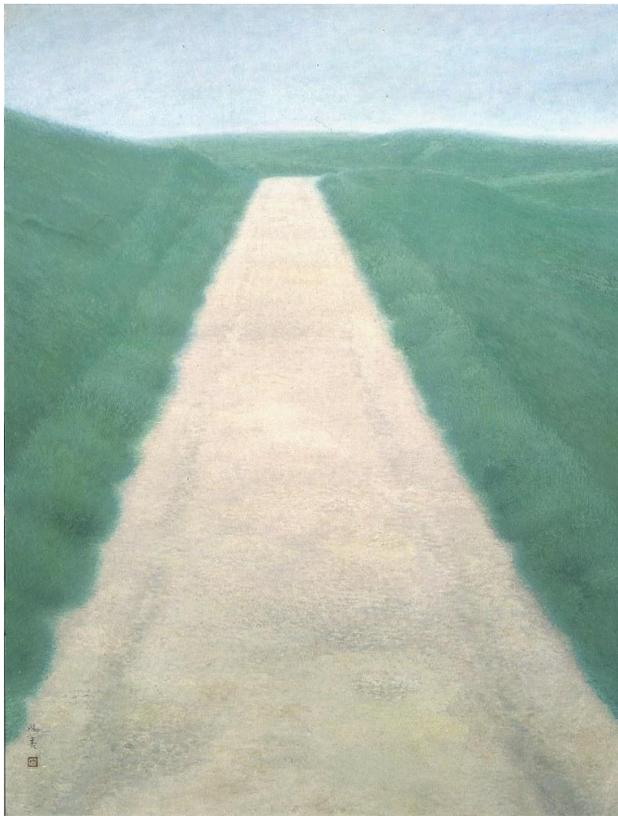


東京国立近代美術館「MOMATコレクション」展

## 東山魁夷特集

2017/9/12 (火)-11/5 (日)

東京国立近代美術館が所蔵する東山の本制作17点を一挙公開！



《道》1950年



《映象》1962年



《秋翳(しゅうえい)》1958年

- 東京国立近代美術館所蔵作品展「MOMATコレクション」の会場の2部屋をつかって開催する小特集です。
- 東京国立近代美術館が所蔵する東山作品(本制作17点、下絵15点、スケッチ20点、版画17点)のうち、本制作17点すべてを展示します。
- 音声ガイドで東山魁夷の「生の声」による解説を。生前の講演会の音声記録を活用したサービスです。
- あわせて、1964年の日展会場で東山《冬華》と隣り合って並び話題をさらった、杉山寧《穹》、高山辰雄《穹》も公開します。

本件に関するお問合せ: 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 / e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

## **お待たせしました！** **東京国立近代美術館が所蔵する東山魁夷の本制作全17点を一挙公開！** **～みどころ・展示内容～**

■展示作品は、東山自身が風景に開眼した記念作だと語った**《残照》(1947年)**、前方へまっすぐつづく道だけを描いた**《道》(1950年)**、北欧旅行の印象をもとに構成したという**《冬華》(1964年)**など、人気の高い大作ばかりです。北欧主題、京都主題までを網羅し、**東山のエッセンスがギュッと詰まっています。**

■なぜ東京国立近代美術館にこれほどの代表作が揃っているのか？ それは、東山本人が手許に置いていた作品を1969年にまとめてご寄贈くださったから。当館が京橋から竹橋に移転したこの年、東山や梅原龍三郎など多くのアーティストから寄贈の申し出があり、コレクションが充実しました。

■しかし、東山は人気作家ゆえ毎年のように他館の展覧会に貸し出しており、当館でまとめて展示する機会がなかなかありません。**今年だからこそできる、本制作17点すべての一挙公開。**この機会は見逃せません。

■音声ガイド(300円)でお聞きいただける**「生の声」**は、1968年に東京国立近代美術館(京橋)の5階講堂で行った美術講座「私と風景画」の音声記録を音源とするものです。

**いつもの音声ガイドに、東山自身が解説した9点分を特別に加えました。**(日本語のみ。)内容もさることながら、声や話しぶりがわかるのも、ファンにとってはたまらないでしょう。こんな音源を所蔵、保管しているのも、MOMATの隠れた底力です。

■1964年の日展会場で、東山《冬華》と隣り合って並び話題をさらった、**杉山寧《穹》、高山辰雄《穹》も併せて公開**します。当時の展示風景を展示室の一角で再現します。

### **東山魁夷(1908-1999)とは？**

横浜生まれ。東京美術学校日本画科(現・東京藝術大学)を卒業後、ドイツに留学して美術史を学ぶ。戦後、1947年に日展に発表した《残照》が特選を受賞し、風景画家として再出発を果たした。1950年の《道》をはじめ、構図や色を整理した平明な作風により、国民的な人気を集めた。

取材旅行に出かけては連作を描いたことでも知られる。1962年の北欧旅行では、帰国後1964年まで3年にわたって北欧主題による制作を続けた。同様の連作に京都(1965年～68年)、ドイツ・オーストリア(1969年～72年)などがある。

また、1960年に新築なった東宮御所の壁画、1968年完成の皇居新宮殿の障壁画を担当し、1970年代には約10年をかけて唐招提寺御影堂の障壁画制作に取り組んだ。

1999年に没。墓所は長野市にあり、唐招提寺にも分骨されている。

## ■音声ガイドより

### ・《残照》1947年

～～その時に私が感じたのは、この瞬間には私を包んでいる大地、あるいは山、木、そうしたものの存在というものが、この瞬間に私と一緒に存在している、という、ようやく無常、流転ということが、生きていることの、表れでもあるし、証でもあるということとをようやく感じたわけなんですね～～



### ・《青響》1960年

～～これは土湯峠という所で、磐梯方面なんですけど、ブナの原生林の山の斜面がありまして、そして、滝なんかはないんですけど、その原生林の山を見てますと、緑の木が、フォルムが重なり合っ、それが1つのリズムカルな感じをもっていると。そうしますと、それだけを真緑に書いたのでは、やっぱりここにアクセントが欲しいので、真っ白な滝を入れたんです～～



## ■その他の出品作品

《秋風行画卷》1952年

《たにま》1953年

《晩照》1954年

《山かげ》1957年

《木霊》1958年

《暮潮》1959年

《雪降る》1961年

《黄耀》1961年

《冬華》1964年

《白夜光》1965年

《月篋》1967年

《白い朝》1980年



《たにま》1953年



《黄耀》1961年



《冬華》1964年



《白夜光》1965年



《月篋》1967年



《白い朝》1980年

## ■画像の貸出について

**「東山魁夷特集」に出品される東山作品は、どれでも、無料(広報扱い)で広報用画像を貸し出します。**

**貸し出しの条件**は次のとおりです。

1. 展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」内「東山魁夷特集」)の会期前・会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には、作品キャプションならびに、展覧会名(所蔵作品展「MOMATコレクション」内「東山魁夷特集」)と会期、展示中である旨を記してください。
3. 原則としてトリミングや文字載せはお断りします。
4. 画像の二次使用はできません。
5. 掲載紙(誌)は、2冊、美術課宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。

## 展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」 東山魁夷特集
会期	2017年9月12日[火]—2017年11月5日[日]
開館時間	10:00–17:00 金曜日・土曜日は20:00まで(入館は閉館30分前まで) 企画展「日本の家 1945年以降の建築と暮らし」会期中(～10月29日)の金曜日・土曜日は、 21:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし9月18日、10月9日は開館)、9月19日[火]、10月10日[火]
主催・会場	東京国立近代美術館 本館 4–2階 〒102–8322 東京都千代田区北の丸公園3–1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般500(400)円 大学生250(200)円 *( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、 MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)キャンパスメンバ ーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料 * 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。
無料観覧日	毎月第一日曜日(10月1日[日]、11月5日[日]) および 11月3日[金・文化の日] * 企画展は観覧料が必要です
お問合せ	03–5777–8600(ハローダイヤル) <a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	ギャラリー4(2F) 「彫刻を作る / 語る / 見る / 聞く」2017年5月27日[土]–11月5日[日] 企画展ギャラリー(1F) 「日本の家 1945年以降の建築と暮らし」2017年7月19日[水]–10月29日[日] 観覧料: 一般1,200(900)円 大学生800(500)円 5時から割引(金曜・土曜の17時以降): 一般1,000円 大学生700円 リピーター割引: 一般500円 大学生250円 *( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料 * 「日本の家 1945年以降の建築と暮らし」の観覧料で、当日に限り所蔵作品展「MOMATコレク ション」もご覧いただけます

**\* オープニング・レセプション、記者内見会、記者発表会はありません。**

本件に関するお問合せ: 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 / e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1